

**「第17回 製剤機械技術学会 仲井賞」
授賞者の選考結果について**
**The 17th NAKAI Award of the Japan Society of
Pharmaceutical Machinery and Engineering**

仲井賞選考委員会 委員長 竹内 洋文
Hirofumi TAKEUCHI
Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立10周年を機に、平成13年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

仲井賞選考委員会において、応募内容について新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第17回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

記

- ・受賞者：久澄 公二（株式会社パウレック）
- ・授賞業績題目：直接顆粒化装置「CTS－SGR」の開発
- ・授賞理由：候補者が開発した装置は、既存の噴霧乾燥、造粒、レイアリング等の製剤プロセスを一本化させた新規な顆粒製造装置である。分級プロセスを組込むことによりこの一本化を実現化し、さらにより精密な粒子制御も可能としている。現時点では実製剤への適用報告は少ないが、その販売実績、装置の特徴を勘案すると、今後、難溶性化合物の改質や高活性物質のハンドリング性の向上など、これまでの製剤プロセスの課題を克服するための新たな製剤機器として活用されていくことが強く期待できる。また、連続生産への適応性が認められる点も評価される。

以上のように、本業績は、新規性・進歩性、社会的貢献度から特筆すべきレベルと判断でき、仲井賞に正に相応しい業績であると考えます。

以上